

インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成



中学部 2 年生



夏休み新聞 旅行記事 4 年 1 組

北洞 絢次郎

夏休み一番の思い出はターキーランステートパークに家族みんなで行ったことです。暑い日だったけど、パークを何マイルも歩きました。高いところに登ったり、はしごに登ったりもしました。歩いたあとに飛び込んだプールは冷たくてとても気持ちがよかったです。ミウガを育てたり、クラスメイトとオンラインでゲームをしたりとても楽しい夏休みになりました。

永野 愛佳

夏休みにナイアガラの滝に行きました。ナイアガラの滝の近くには船でいけます。船がたきの近くまで行くと水しぶきをあびるので暑い夏には涼しくておすすめです。近くにあるスカイロンタワーにはナイアガラのたきが見えるレストランがあります。ゆかが一時間に一周まわるのでレストランの全てのお客さんがいろんな景色をみることができます。夜はライトアップや花火もみれます。楽しい今年の夏の思い出になりました。

奥谷 晏司

夏休みにラスベガスに行きました。なんと 43 度まで気温が上がるくらいとても暑いところでした。アイスコーヒーがいつのまにかホットコーヒーになっていたほどです。ほかにラスベガスで面白いと思ったのは、ラスベガスの町とさばくがすごく近くにあったことです。楽しいところもたくさんあって素敵な町だと思いました。

小林 煌河

「この夏、ぼくは日本に一時帰国しました。2年ぶりに再会した友達といっしょにごはんを食べたり、夜には花火をしました。手持ち花火や線香花火など、久しぶりの花火はとてもきれいでした。色々なスポーツができるラウンドワンに行って友達とボルダリングとバスケットボールをしたのも楽しい思い出です。日本ではいつも食事楽しみです、今回は特に手打ちそばとしゃぶしゃぶが美味しかったです。次に日本に行ける日がとても楽しみです。」

運動会絵日記 2年1組



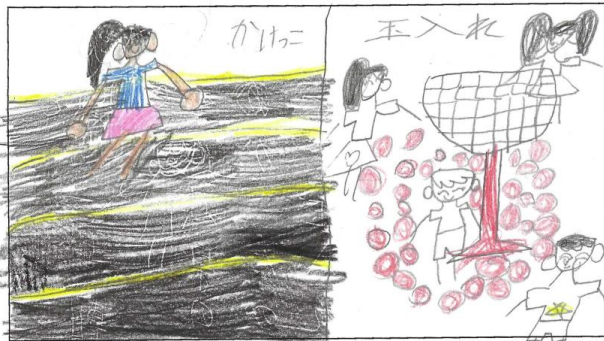
加賀美 凜

わたしは、玉入れをがんばりました。さいしょは、なかなか入らなかったけど、どんどん入れていくと、入るようになってきました。白組にかつて、うれしかったです。



前原 光甫

ぼくは、うんどう会が楽しかったと思います。一番楽しかったのは、60メートル走です。なぜかという、一番になったからです。ぼくの弟は、「しっかり走れるよ」で走りました。ぼくの弟は、おかしをもらいました。うんどう会は、ものすごく楽しかったです。



川口 優月

日本語学校でうんどう会がありました。わたしは、アメリカに来てはじめてのうんどう会だったし、二回も学校を休んでいたの、みんなが何をやるのか分からなくて、すこししんばいでした。でも、うんどう会の日、とても天気がよくて、朝からわくわくしていました。ぜんぶ楽しかったけど、とくに楽しかったのは、玉入れとかけっこです。玉入れは、みんなで力を合わせてがんばったら、赤チームがかったからよかったです。かけっこは、一番になってうれしかったです。来年のうんどう会もがんばりたいです。

「きいて、きいて、きいてみよう」 5年2組

「お父さんに仕事のことを聞きました」 大久保 啓斗

なぜ、お父さんに仕事のことをインタビューしたかというと、どのくらい大変なのかを知りたかったからです。

ぼくは話題の中心になったところは「安全」だと思います。その理由は、お父さんがお客様の安全を守るために、確認テストを何回もくり返す必要があると言っていたからです。このことを聞いて、安全を守るためには、すごく時間をかけていることが分かりました。またインタビューでは、お父さんが何年働いているかも聞きました。ぼくが生まれる前から同じ仕事を続けていると聞いておどろきました。同じことを続けることは大変だと思います。インタビューをして、安全を守るためにしていることや、長く働いていることを知り、お父さんがどんなに頑張っているのかがよく伝わってきました。

「いとこの健くとスポーツ」 ウォルズ優人

ぼくのいとこで、千葉県に住んでいる小学 3 年生の健くにインタビューしました。ぼくは健くに 3 種類のスポーツについて質問しました。

まず、ドッジボールが今学校で一番はやっているスポーツだそうです。健くんもドッジボールが好きだそうです。理由は、他の人に当てたら気持ちがいいからだそうです。次に好きなスポーツは、サッカーだそうです。健くんのポジションは、フォワードかディフェンスです。シュートができるように、1 週間に 3 回も練習に行っています。1回の練習は1時間くらいです。サッカーを始めたきっかけは、お父さんのすすめで、いいプレーができたなら、自分もすごくうれしいからだそうです。最後に、ぼくの好きなパルクールのことを質問しました。健くんは「パスケ」というテレビ番組でパルクールを見て、そのスポーツを知ったそうです。「パスケ」はアスレティックの番組です。健くんはやってみたいけど、失敗したら痛そうと話していました。ぼくはこのインタビューを通して、健くんのことを前より知ることができてうれしいです。

「日本食材店、ワンワールドの食品とメニューについて」 ゲートウッド 聖子

私はワンワールドに、日本の食べものの買い物についていきます。お店には、たくさんの日本のおかしや食物が並んでいます。私はどんなものが一番売れているのか、またどのような工夫をしてくさらないようにしているのか。そして、食事のメニューはどのように考えているのかを調べてみました。

実際にお店に行き、店長さんにインタビューをお願いしました。インタビューの内容は以下の 3 つです。

【1】何が一番売れているか。

甘いおかし、チョコレート、キャンディー、和菓子がよく売れています。アメリカ人のお客様にも人気があるようです。

【2】食品がくさらないよう、どのような工夫をしているか。

- ドライ食品…すずしい室温で保存する。
- 野菜、魚、とうふ等…冷蔵庫は40° F で保存。
- 冷凍庫…0° F 以下で保存。

全ての食品管理は、よごれたものと接触しないようにしたり、除きんもよくすると言われました。

【3】どのようにメニューを考えているのか。

リーダーとシェフたちが話し合って決める。お客様の意見やインターネットの情報、ニュースを参考にしていく。基本的には、自分たちが食べたいものや食べてもらいたいものだそうです。

お店では、たくさんの努力がされていることが分かりました。日本のお菓子は'アメリカ人にも人気があることが分かりました。食品の保存は、種類別に工夫されていたり、メニューはシェフや店員さんが調べて考えていることを知りました。これはお客さんに思いやりがあるからだと思いました。

「お父さんとラグビー」 渡辺陽生

お父さんは、高校1年生のころからラグビーを始めました。中学生の頃はテニスをやっていたそうです。でも、高校からは、チームでやりたいと思ったそうです。チーム競技はいっぱいありましたが、サッカーや野球ではレギュラーになれないから、ラグビーを選んだそうです。コロナになってからラグビーができていませんが、コロナが明けたらもう一度ラグビーをやりたいと言っていました。インタビューをしてみて、ぼくはお父さんがチームでスポーツをやりたいという気持ちが強いんだなと思いました。早くラグビーができるようになればいいと思います。



昭和6年1931年11月11日、渋沢栄一は91歳の生涯を閉じました。

民間の地位を高める

渋沢栄一がその長い生涯をかけて、実現しようとしたものは何だったのでしょうか。

第一に、「官尊民卑」(政府・官吏を尊んで、人民をいやしむこと)の打ち破るといことが挙げられます。17歳の栄一が、岡部の陣屋の役人にさんざんにばかにされる話は有名ですが、この時の経験は、栄一に、家柄や身分によって人間が差別されることの非をさとらせ、そういうことのない社会の実現をめざすきっかけとなりました。渋沢栄一は、こうした数々の企業の創立や運営にたずさわる活動を通じて、優れた人物を育成し、民間の地位を高めることに努めました。

なぜ、渋沢財閥はないのか。

栄一と同じ明治の経済人岩崎弥太郎は、三菱財閥を作りました。蘇我理右衛門を祖とする住友財閥、安田善次郎の安田財閥。しかし渋沢財閥はありません。栄一の力を持ってすれば、財閥を作るのはたやすいことだったでしょう。しかし、多くの会社に関わる中で、人を育てて任せるとい、自ら財閥を作らなかった渋沢栄一は、自分の利益より民間の地位を向上させ、民間の実業界の発展をなによりも重視したのです。

名言 お金をたくさん集めて、たくさん使うことで社会を活発にし、経済の発展を促すのがよい。お金持ちは、よく集めると同時に、よく使わなければならない。



第二に、渋沢栄一が生涯つらぬいた経済と道徳の考え方でした。「道徳こそが富を成す根源であり、正しい富でなければ、その富は長続きしない。そしてその富は社会で共有するものである。」と言っています。つまり、人格を磨くことと、利益を追求することの両立が大切であると説いています。

明治11年(1878年)、「屋形船会合事件」という出来事がありました。二人の財界の大物の岩崎弥太郎と渋沢栄一が話し合った時のことです。その席で岩崎は、栄一に「われわれ二人で事業を経営すれば、日本の実業界を牛耳ることができる。手を組まないか。」と持ちかけます。社会に富を広く行き渡らせたいと考える栄一と、独占したいと考える岩崎の意見は合わず、栄一は怒って席をけて立ち去ります。栄一は、パリに行っていた時、イギリスから「日本の商品はインチキばかりする。何とかしてほしい。」という苦情を受けました。その時渋沢栄一は、日本の商品はこんなにレベルが低かったのかと感じます。

角川まんが学習シリーズ 論語と算盤

「お金儲けのために人をだましたり、儲けたお金をひとりじめにしたりしたらダメだ。」と心に誓います。

渋沢栄一は、「国家が強くなることは大切であるが、きよくたんに言うとな一人だけ富んでもそれで国が富むことにはならない。国家が強くなることもない。富をひとりじめすることではなく、大勢から資金を集め、事業を起こし出したお金に応じて配当することで全体が豊かになることが大切である。」と言っています。だから、岩崎



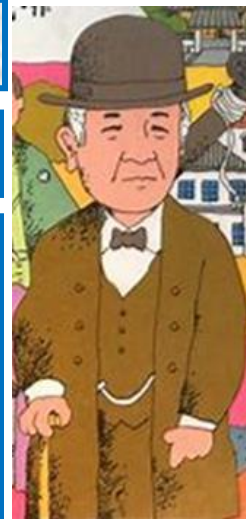
弥太郎の誘いをきっぱりと断ったのです。栄一は、私利私欲^{しりしよく}のために動かない道を模索^{もさく}し、国を豊かにし、人々を幸せ^{せんねん}にすることに専念した人生でした。

名言 商売をする上で重要なのは、競争しながらでも道徳を守ることだ。

名言 まねをするときには、その形ではなく、その心をまねするのがよい。

名言 優れたものの魂(たましい)をまねよ。

(解説)人気商品が生まれると、他のメーカーから似たような商品が追って発売になることは多いです。しかし、デザインなど表面的な点をまねするだけでは、なかなか最初にヒットした商品には追いつけません。なぜその商品がヒットしたのか、本質となる魂の部分は何かを見きわめて、まねることが大切ということを、渋沢栄一は述べています。



【お知らせ】

○ コロナ禍で、陽性となった場合は問診票を提出していただいています。その場合、学校から個別に登校できる日の連絡をしています。診断が出た翌日から5日間は登校ができません。6日目から10日目までは、マスクの着用義務となります。現在も、陽性の報告が続いています。

最近朝から体調が悪く、途中で早退をする子どもたちが増えています。朝の健康観察を引き続きよろしくお願いします。感染を広げないために、健康観察で通常と違う症状がある場合は、登校をご遠慮ください。

○ 漢検を受検する子どもへの説明文書は、10月22日に配布します。

本日の配布物 なし

